# 一般国道3号(広川町~八女市)における計画段階評価

### 1. 一般国道3号広川町~八岁市の課題

### ①渋滞発生による速度低下や道路利用者の安全性の確保

- 〇対象区間には主要渋滞箇所が4箇所と集中し、 市街地の区間で著しい旅行速度の低下が発生。 (図1)
- ○対象区間の平均死傷事故率は県内国道平均と 比べ高い区間があり安全確保が課題。(図1)

### ②災害時の交通機能の低下

- 〇九州縦貫自動車道が通行止めになった際、 国道3号へ交通が集中。
- 〇対象区間の国道3号は浸水想定区域を 2筒所通過しており、豪雨時には道路冠水 により、防災活動や物流への影響が懸念 される等、交通機能の低下が課題。 (図2、写真1)

### ③産業活動の速達性・定時性の確保

- ○国道3号沿線地域には多数の工業団地が 立地しているが、渋滞により物流コストが 増加しているなど、企業活動に影響。 (図3)
- 〇八女地区(八女市・広川市)は農業が盛ん な地域で、多数の品目で県内上位を占め るが、県外輸送時の広川ICへのアクセス 向上が課題。(図4)

### 4観光施設へのアクセス性の向上

○対象区間周辺地域には観光資源に恵ま れる奥八女地域などを有しているが、 県外からの観光客は少ない状況であり、 観光振興を図るため、各観光施設への アクセス性向上が課題。(図5)

### ⑤第3次医療施設までの速達性の確保

〇対象区間周辺地域では、第3次救急医療施設は 久留米市にしかないため、ハダ市山間部地域 から救急指定病院への平均搬送時間が、福岡 県平均を大幅に上回っている状況であり、搬送 時間を短縮し安定した救急搬送の確保が課題。 (図6)



- 資料:H27全国道路・街路交通情勢調査、交通事故データベース(H25-H28) 国道3号(広川町~八女市)の旅行速度・死傷事故率

図2 国道3号に関連する浸水想定区域



写真1 国道3号(広川町~八女市)の冠水状況



図3 国道3号沿線地域の工業団地立地状況



図5 H29観光客数の内訳 図4 H29福岡県市町村別 (県外と県内)

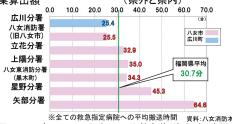


図6 H29広川町・八女市の平均救急搬送(収容)時間

### 2. 原因分析

### ①2車線の交通容量を上回る交通が集中

○2車線区間であるが、最も多い区間では交通容量を上回る 2. 4万台/日の交通集中により渋滞が発生。(図7、写真2)

○沿道の商業施設への出入交通の影響や、信号交差点の連担 等により、急ブレーキ発生、追突事故の割合が高い。(図8)

### ②大型車も利用可能な国道3号の代替路がない

○九州縦貫自動車道が通行止めとなった場合の広域的な 代替路は並行する国道3号のみ。(図9、写真3)

## ③物流交通と地域内交通の混在および脆弱な物流経路

〇広川中核工業団地を中心に製造業企業が集積している ため、物流交通により、国道3号は大型車混入率が著しく 高く、通過交通(物流交通)と地域内交通が混在している ことから、旅行速度の低下や所要時間が増大。 (図7、図10、写真2)

対象区間は上位15%にすべて

451件/4年 (H25-H28) 62.7

対象区間の 事故類型割合

23 20 18 76 通行止め実績

資料:交通事故データベース

福岡県内直轄国道における大型車 混入率の区間別ランキング

#### 上度:日公通量(台/日) 中度:温速度 下度:大型車温入率(%) 丁=19,011(台/日) ★ 主要渋滞箇所(H25) 工業団地 大型=31.5 写真3 九州道縦貫通行止め時の 国道3号の状況 T'=13,748(台/日) K=0.87 T'=20,054(台/日) 大型=25.1% T'=16,228(台/日) T'=24,282(台/日) 大型=20.9% 資料:H27全国道路·街路交通情勢調查 「商業施設]マップル2018 大型小売店総覧20 工業団帯 納楚交差点 入口交差点 60 40 900 (件/億台キロ年 600 300

図7 国道3号(広川町~八女市)の交通状況

### 4)国道3号と山間地域間のアクセス性が悪い

### ⑤渋滞による搬送時間の増大

〇国道3号と山間部地域間を繋ぐ道路が不足。 〇山間部地域の搬送時間は県平均を大幅 に上回っている。(図6)

### 3. 政策目標

(図7)

- ①交通機能の向上による交通環境の改善
- ②信頼性の高い道路ネットワークの確保
- ③速達性・定時性の向上による産業活動の支援
- ④速達性・定時性の向上による観光振興の支援
- ⑤速達性向上による救急医療活動の支援

#### ひろかわまち やめ

### 一般国道3号(広川町~八女市)における計画段階評価

### 4. 対策案の検討

【案②】別線バイパス案(最短ルート)

【字③】別線バイパス字(山側ルート)

起終点を最短で結んだ別線バイパスルート 一般道路タイプ (設計速度:60km/h)

集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案 一般道路タイプ (設計速度:60km/h)

| 評価項目      |                              |     | 頁目                          | 【案①】現道(国道3号)拡幅案 |  |   | 【案②】別線パイパス案(最短ルート)  |   | 【案③】別線パイパス案(山側ルート)  |  |
|-----------|------------------------------|-----|-----------------------------|-----------------|--|---|---|---|---|--|
|           | 項目 評価指標                      |     | ₩ (本 + b + m                | 現道の国道3号を拡幅する案   |  |   | 起終点を最短で結んだ別線バイパス案   |   | 集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案   |  |
| - 現日      |                              |     | 計画指標                        |                 | 約10km  |   | 約10km   |   | 約11km   |  |
| 政策目標      | 【暮らし】交通機能の向上による<br>交通環境の改善   | 1   | 渋滞の緩和                       | Δ               | ・交通量に応じた車線数が確保され、渋滞緩和が図られる<br>・交通が集中し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害等の<br>要因が残る    | 0 | - 通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる<br>- 通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行<br>阻害の緩和が図られる         | 0 | <ul> <li>通過交通が別線へ転換し、現園道3号の渋緩緩和が図られる</li> <li>通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる</li> </ul> |  |
|           |                              | 2   | 交通事故の減少                     | Δ               | ・交通が集中し、沿線店舗や接続する道路からの出入り車両による加減速を要因<br>とした事故が懸念される                            | 0 | ・渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる  | 0 | ・渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる  |  |
|           | 【防災】信頼性の高い道路ネット<br>ワークの確保    | 3   | 災害時の信頼性の向上                  | ×               | ・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路<br>が確保できない<br>・浸水想定区域を通過する必要があり、冠水時の通行が困難 | 0 | ・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が<br>確保できる<br>・別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可<br>能 | 0 | ・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が<br>確保できる<br>・別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可<br>能           |  |
|           | 【産業】速達性・定時性の向上による産業活動の支援     | 4   | 輸送の効率化                      | ×               | ・農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より7分短縮   | Δ | ・農業が盛んな八女市東部地域から広川にまでの所要時間が現況より13分短縮  | 0 | ・農業が盛んな八女市東部地域から広川にまでの所要時間が現況より16分短縮<br>・広川町が検討中の広川東部地域の新たな工業団地等の計画への支援が期待でき<br>る                       |  |
|           | 【医療】速達性向上による救急医療活動の支援        | (5) | 久留米市の第3次教急医療施設への30分圏<br>域人口 | ×               | ・第3次教急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する<br>が他案より劣る                                | 0 | ・第3次教急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する  | 0 | ・第3次教急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する  |  |
|           | 【観光】速達性・定時性の向上に<br>よる観光振興の支援 | 6   | 観光地へのアクセス性                  | ×               | ・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況<br>より7分短縮                                 | Δ | ・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より<br>13分短縮   | 0 | ・広川にから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より<br>16分短縮  |  |
| 道路整備による影響 | 生活環境                         | 7   | 大気質·騒音等                     | ×               | ・概ね市街地を通過するため、生活環境への影響は大きく、特に施工時における<br>周辺への生活への配慮が必要                          | Δ | ・点在する集落を通過するため、生活環境への影響は大きい   | 0 | ・点在する集落を概ね回避でき、生活環境への影響は小さい   |  |
|           | 自然環境                         | 8   | 田畑・山地の改変                    | 0               | ・集落・市街地を通過し、田畑・山地の改変は少ない   | × | ・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑の改変を伴う   | × | ・概ね田畑・山地を通過し、田畑・山地の改変を伴う  |  |
|           | 家屋・店舗への影響                    | 9   | 移転が必要となる家屋数                 | ×               | ・集落・市街地を通過するため、家屋・店舗の移転等は最も多い  | Δ | ・点在する集落を通過するため、家屋・店舗の移転等は多い   | 0 | ・集落・市街地を概ね回避するため、家屋・店舗の移転等は少ない  |  |
|           | 沿道利用                         | 10  | 施設へのアクセス性等                  | 0               | ・現国道3号沿道の商業施設などに直接アクセスできる  | × | ・別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る  | × | ・別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る  |  |
|           | 施工中の影響                       | 11) | 施工中の影響                      | ×               | ・工事中は交通を確保する必要があるため交通の切り回しが発生し周辺店舗や<br>家屋への影響が大きい                              | Δ | ・集落が点在するため工事中の影響が大きい  | 0 | ・集落や市街地を避けているため、工事中の影響が小さい  |  |
|           | コスト                          | 12  | 整備に要する費用                    | ×               | 約330~380億円   | Δ | 約300~350億円  | 0 | 約250~300億円  |  |



図8 国道3号(広川町~八女市)における対策案検討

### 対応方針:【案③】別線バイパス案(山側ルート)による対策が妥当 【計画概要】

路線名:一般国道3号

ふくおか やめ ひろかわまち にいしろ ふくおか やめ たちばなまち しもへ ばる

・区間:福岡県八女郡広川町新代~福岡県八女市立花町下辺春

・概略延長:約11km ・車線数:2車線 ・設計速度:60km/h

・概ねのルート: 図8 [案③] のとおり

#### (参考) 当該事業の経緯等

#### [計画段階評価、都市計画決定の状況]

・R1.5:第1回九州地方小委員会 ※計画段階評価手続き着手

•R1. 7~ 8:第1回意見聴取

·R1.11 : 第2回九州地方小委員会

·R1.11~12:第2回意見聴取

·R2. 5 : 第3回九州地方小委員会

R2.6 :対応方針(概略ルート・構造)の決定

• R4.10 : 都市計画決定(福岡県)

#### [地域の要望等]

・H30.9:八女市長、広川町長が国土交通省に早期実現を要望

・H31. 3 : 八女市長、広川町長が国土交通省に早期実現を要望・R2. 6 : 広川町長が国土交通省に早期事業着手を要望

・R2. 6 : 広川町長が国土交通省に早期事業着手を要望・R3.11 : 八女市長が国土交通省に早期事業着手を要望

• R4. 7 : 福岡県知事、福岡県議会議長が国土交通省に早期事業着手を要望

・R4. 12 : 八女市長、広川町長、八女市議会議長、広川町議会議長が国土交通省

に早期事業着手を要望

・R5.2 : 一般国道3号(広川~八女)バイパス整備促進協議会が国土交通省に

早期事業着手を要望